

台風3号の接近に伴う注意喚起

各種ニュース報道のとおり、6月6日(火) フィリピンの東で発生した台風3号が、来週前半に日本の南を通過する見込みです。台風2号に続き、現在も梅雨前線の影響で広範囲に大雨の予報が出ており、引続きの注意喚起として、被害の発生・拡大防止に向けた事前の対策についてお伝えいたします。

1. 台風3号の進路予想

6月9日(金)9時の気象庁予報部発表によると、6月6日(火)21時フィリピンの東で発生した強い台風3号が、フィリピンの東を北西に進んでいます。中心の気圧は975hPa、最大風速は35m/s、最大瞬間風速は50m/sです。

気象庁は6月8日(木)に関東甲信地方が梅雨入りしたとみられると発表しました。現在も梅雨前線が日本列島の南岸沿いに停滞し、広く九州から関東を中心に雨が降り、東北・北海道も大気が不安定となる恐れがあります。

台風3号の今後の進路によっては梅雨前線が活発化し、来週は太平洋側で大雨となる恐れもあります。

台風2号により被災された地域を含め、東日本の太平洋側では、仮に少ない雨量でも土砂災害の危険度が高まりやすい状況です。土砂災害、河川の増水や氾濫、低い土地の浸水に引き続き警戒してください。

また、大気の状態も不安定となるため、落雷や竜巻などの激しい突風にも注意してください。発達した積乱雲の近づく兆しがある場合には、建物内に移動するなど、安全確保に努めてください。

2. 事前の対策について

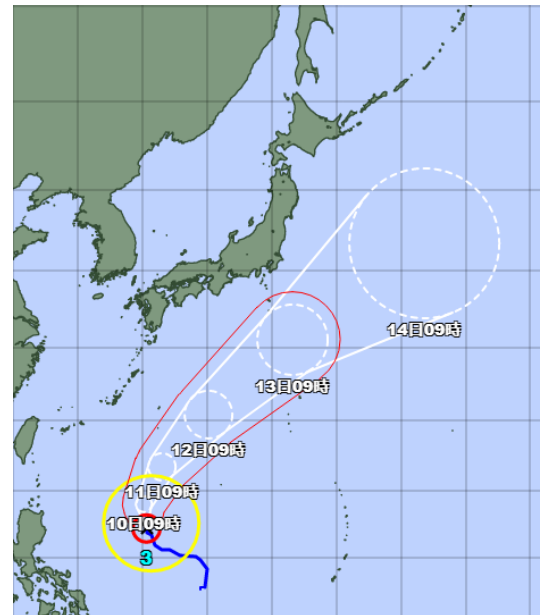
台風・集中豪雨は平時からリスクを想定し、タイムラインに沿った防災行動計画の策定と、対策ツールの準備など、具体的に対策を検討・実行していくことにより減災が可能とされており、今一度、社内関係部署との連携方法や対策ツール類のご準備・すぐに取り出せて使用できる状態になっているかといったご確認をお勧めいたします。

各現場でご使用いただける点検チェックシートを添付いたしましたのでご利用下さい。



【出典】 気象庁 <https://www.jma.go.jp/jp/typh/>

本 Topics に関するお問い合わせ、ご意見、ご感想等ございましたら、弊社営業担当までお寄せください。編集にあたっては万全の注意を行っていますが、本 Topics 情報の正確性を保証するものではなく、これにより生じたいかなる損害に対して弊社は一切の責任を負わないものとします。



台風3号の進路予想 (6月9日9時 気象庁発表)



マリントピックス バックナンバー